



第十三回

Modern Japanese Song Society
日本歌曲協会

Modern Japanese Songs with Traditional Instruments (Vol.13)

邦楽器とともに 新しい日本歌曲の煌めき

2018年
10月29日(月)
18時30分開演
18時開場

東京文化会館 小ホール
JR上野駅公園口正面
「電話」03・3828・2111

一般 4,000円—学生 2,000円—全席自由

【チケット取扱い】

日本歌曲協会事務局

e-mail: info@nikakyou.org

Fax: 044-572-1309

東京文化会館チケットサービス

Tel: 03-5685-0650

http://www.t-bunka.jp/ticket/

【お問い合わせ】

Tel: 044-572-7895 (日本歌曲協会)

Tel: 080-3012-3817 (森田)

【主催】 日本歌曲協会

Modern Japanese Song Society

http://www.nikakyou.org/

【後援】 (一社)日本作曲家協議会

日本現代音楽協会

☉(公財)日本伝統文化振興財団

邦楽ジャーナル

大日本家庭音楽会

全国邦楽器商工業組合連合会

東京邦楽器商工業協同組合

【協力】 作曲家グループ<邦楽2010>

おことこの店 谷川

○Monday, October 29, 2018, 6:30 p.m.

(doors open 6:00 p.m.),

○Tokyo Bunka Kaikan, Recital Hall

(In front of the Park Exit, JR Ueno Station.

Tel: 03-3828-2111, 5-45, Ueno Koen,

Taito-ku, Tokyo.)

Admission General ¥4,000

Student ¥2,000

Ticket

○Modern Japanese song society

(e-mail: info@nikakyou.org

Fax: 044-572-1309)

○Tokyo Bunka Kaikan, Ticket Service

(Tel: 03-5685-0650

http://www.t-bunka.jp/ticket/)

More information contact

○Modern Japanese Song Society

(Tel: 044-572-7895),

○Morita (Tel: 080-3012-3817)

司会 田中隆文 (邦楽ジャーナル編集長)

新作歌曲を揃えて

(第一部)

こぞうさんの

おきよう

詩: 新美南吉

曲: 神坂真理子

歌: 中畑有美子 (S)

箏: 吉澤延隆

十七絃: 金子展寛

篠笛: あかる潤

(第二部)

秋のトリル

詩: 橋爪文

曲: 池上眞吾

歌: 加川文字子 (S)

箏: 池上眞吾

十七絃: 吉澤延隆

フルート: 有田絃平

北斎
四枚の画をめぐる

— 歌: 二十絃箏・

三味線の為に —

詩: 原かずみ

曲: 小山順子

歌: 紙谷弘子 (MS)

二十絃箏: 平田紀子

三味線: 野澤徹也

石巻幻想

詩: 吉田義昭

曲: 前田智子

歌: 百合道子 (MS)

箏: 平田紀子

尺八: 田嶋謙一

揮発する館

詩: 藤井慶子

曲: 田丸彩和子

歌: 永松圭子 (MS)

二十五絃箏: 金子展寛

尺八: 田辺頌山

麦の大地 /
大地を耕す時

詩: 吉田義昭

曲: 増本伎共子

歌: 福嶋勲 (BR)

尺八: 田辺頌山

チェロ: 佐山裕樹

古池や

メゾソプラノと
箏のための

句: 松尾芭蕉

曲: 菅野由弘

歌: 青山恵子 (MS)

箏: 深海さとみ

寧楽の秋

詩: 高原桐

曲: 福嶋頼秀

歌: 秋山恵美子 (S)

箏: 深海さとみ

囃子: 望月晴美

Modern Japanese Song Society Concert

「邦楽器とともに」に期待して (順不同)

2017年、トリフォニーホールでの演奏を聴く。日本国で日本人による日本の言葉と日本の楽器で、これ程至福な時を過ごしたことはない。昨今、巷の日本語の乱れが気になっていたが癒された。乱れには乱れの息使いがある。自然の理に従う作者、演者の息使いに心より拍手を！ 不安な時代、この響きが一条の光となると、祈る。

リズミスト 有賀誠門

私たちは「日本歌曲」「邦楽器」そして「伝統」という名の高い塀を作り、その中庭でしゃがみ込んでいた様な気がします。壁の向こうを覗いてみれば、自然に「歌」があり「楽器」があり、それを楽しむ人々がいる。そして何よりも、「作曲家は死んだ人でなければならない」という常識を覆す活動に感謝！

作曲家 菅野由弘

いつもしゃべっている言葉で歌いたい。あたりまえのことだ。和楽器には、日本語の歌を支え続けた長い歴史がある。だから和楽器に歌が寄り添うことで、もっと自然に、もっと素直に、言葉から歌が生まれるだろう。「邦楽器とともに」はそのことにはやくから気付いていた。

武蔵野音楽大学教授 薦田治子

邦楽器と洋楽発声の声楽との接点を見だし、新作にも意欲的に挑んでいるこのコンサートは、新しい歌曲の世界を広げていく大きな力となっています。邦楽に興味を持っている作曲科の学生もいて、もしかしたら今の若い人にとって邦楽は新しい魅力的な世界なのかもしれません。更に大きな流れとなり日本歌曲協会が発展されることをお祈り致します。

声楽家 三縄みどり

未来を見据えて

2006年「邦楽器とともに」が産声を上げて13年が経ちました。その間、発表した新作も今回でほぼ100曲を数えます。2年前、それまでの詩人、作曲家、声楽家に加え、邦楽奏者も会員として参加、この事業を中心に据えた「日本歌曲協会」を立ち上げました。今年度からは、毎回テーマをもってより自由な発想の下で行う「春のステージ」に加え、年2回の演奏会を行うこととし、将来への基盤も整ってきました。東西の融合、東から西への発信、5年後、10年後を見据えて、より日本人の心に寄り添った新しい日本の歌の創造と発展に尽くして参ります。

日本歌曲協会 代表 森田澄夫

Poets: NIIMI Nankichi, HARA Kazumi, FUJII Keiko, MATSUO Basho, HASHIZUME Bun, YOSHIDA Yoshiaki, TAKAHARA Tou,
Composers: KAMISAKA Mariko, OYAMA Junko, TAMARU Sawako, KANNO Yoshihiro, IKEGAMI Shingo, MAEDA Satoko, MASUMOTO Kikuko, FUKUSHIMA Yorihide,
Singers: NAKAHATA Yumiko(S), KAMIYA Hiroko(MS), NAGAMATSU Keiko(MS), AOYAMA Keiko(MS), KAGAWA Fumiko (S), YURI Michiko (MS), FUKUSHIMA Isao(Br), AKIYAMA Emiko(S),
Instrumentalists: <koto>YOSHIZAWA Nobutaka, FUKAMI Satomi, IKEGAMI Shingo, HIRATA Noriko, <17 string koto> KANEKO Nobuhiro, YOSHIZAWA Nobutaka, <20 string koto> HIRATA Noriko, <25 string koto> KANEKO Nobuhiro, < shamisen > NOZAWA Tetsuya, <cello> SAYAMA Yuki, <shinobue>AKARU Jun, <shakuhachi> TANABE Shozan, TAJIMA Ken'ichi, <flute>ARITA Kohei, <hayashi>MOCHIZUKI Harumi,

Presented by Modern Japanese Song Society
with support from the Japan Federation of Composers, Japan Society for Contemporary Music, Japan Traditional Cultures Foundation, Hogaku Journal, Dainihon Katei Ongakukai, Zenhouren, Touhoukyou, the Hogaku Composers Alliance 2010 and Okoto no Mise TANIKAWA



日本歌曲協会

Modern Japanese Song Society



東京文化会館

東京都台東区
上野公園5-45
Tel.03-3828-2111

JR上野駅
公園口改札から徒歩約1分
京成上野駅
正面口改札から徒歩約7分
東京メトロ上野駅
7番出口から徒歩約5分